



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25



4
Apr.2025

2024-25 年度
国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 野村 壮吾



目次

4月ガバナーメッセージ	1
国際協議会報告	2
インターシティ ミーティング	9
【クラブ活動報告】	
台湾岡山 RC の創立 60 周年記念式典	10
フィリピン・セブ島の水と衛生プロジェクトを視察	12
地区献血活動参加のご報告	13
熊野古道の「道普請」を実施して	14
新会員の紹介 / 訃報	15
会員数報告 (2025 年 2 月)	16
My Rotary 登録状況 (2025 年 3 月)	17
4月の行事予定	18



2025年4月ガバナーメッセージ

親愛なるロータリアンの皆さまへ、
春の暖かな風が訪れる4月、私たちは「環境月間」を迎えています。この時期は、地球環境を守るために私たちができることを改めて見つめ直し、行動に移す重要なタイミングです。

ロータリーの7つの重点分野の一つである「環境の保全」は、未来世代のために持続可能な世界を築く私たちの使命を明確に示しています。そしてその使命を支えるのが、私たちが常に掲げてきた「超我の奉仕(Service Above Self)」の精神です。

清掃活動は、この精神を具現化する最も身近で効果的な取り組みの一つです。私たちの活動を通じて、地域社会にポジティブな影響をもたらすだけでなく、地球全体への恩恵を届けることができます。クリーンアップ活動は、単に街をきれいにするだけでなく、以下のような深い意義を持っています。

1. 模範としての役割

清掃活動を行う私たちの姿は、地域の人々に環境保全の大切さを直接訴えるメッセージとなります。目の前のゴミを拾うというシンプルな行動が、多くの人々の心に「自分も何かしよう」という想いを呼び起こす力があります。

2. コミュニティの連携と絆の強化

地域社会での清掃活動は、ロータリアン同士の絆を深めるだけでなく、地域住民や他の団体との新たなつながりを生み出します。一緒に活動を行うことで、共通の目的意識が生まれ、地域全体での連帯感が育まれます。

3. 教育の場としての役割

清掃活動に子どもや若者を巻き込むことで、環境保全に対する意識を育む絶好の機会となります。地球に優しい行動を次世代へと伝えることが、未来のリーダーを育てる第一歩です。

国際ロータリー第2640地区においても、清掃活動を中心としたさまざまな環境保全プロジェクトが

行われています。今年度の具体的な取り組みとして、以下のような活動を提案いたします。

- ・海岸や河川の清掃イベント：海洋プラスチック問題への直接的な対策として、地域住民を巻き込みながら実施します。
- ・公園や公共スペースの美化活動：地域の憩いの場を美しく保ち、人々にリフレッシュできる環境を提供します。
- ・環境啓発キャンペーン：活動の一環として、地球環境の現状や清掃活動の重要性について地域全体で理解を深める機会を創出します。

ロータリーの奉仕の精神を携えて、私たち一人ひとりの小さな行動が、大きな変化を生む力を持つことを忘れないでください。この環境月間において、皆さまが新しい挑戦やインスピレーションを得て、それぞれの地域で情熱を持って取り組んでいただけることを心から期待しています。

最後に、皆さまの献身的な努力に深く感謝申し上げますとともに、地球の未来を守るために共に歩んでいけることを誇りに思います。





国際協議会報告

国際協議会に出席して

2025年2月6日～15日 米国・オランダ

国際ロータリー第2640地区
ガバナーエレクト 北野治義



マリオ・セザール・マルティンス・ デ・カマルゴ

2024-25 年度会長エレクト
Santo André ロータリークラブ
ブラジル、サンパウロ



印刷業界のビジネス・コンサルタントであり、父親が設立した印刷会社 Gráfica Bandeirantes の元取締役。彼のリーダーシップのもと、同社はブラジルや南米のクライアントに印刷物を提供するサプライヤーに成長。

軍学校に通い、ロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州セントポールの高校を卒業。ドイツのオッフエンバッハにある印刷機メーカー、MAN Roland で1年間のインターンシップを経験した後、Fundación Getulio Vargas' São Paulo School of Business Administration より学士号を取得。また、サン・ベルナルド・カンボ法科大学より法学士号を取得。

ブラジルのグラフィック技術協会やブラジル印刷産業協会 (ABIGRAF) の会長など、数多くの専門家団体を率いた経験を有する。また、全国産業連盟のサンパウロ州産業連盟 (FIESP) 代表理事、FIESP 副会長、ラテンアメリカ印刷産業連盟副会長も歴任。フロリダ印刷協会から「Printing Leader of the Americas」賞、NPES (印刷・出版・加工技術サプライヤー協会) から「Global Presidential Print Award」を受賞。

1980年、23歳でロータリーに入会。理事と管理委員を

歴任し、ブラジルで4番目のRI会長として就任。RIラーニングファシリテーター、Avoidable Blindness (回避可能な失明) タスクフォースのゾーンコーディネーター、健康問題のタスクフォース中南米コーディネーター、RI会長代理、規定審議会代表議員など数多くの役割を歴任。また、RI会員増強委員会、ロータリー財団プログラム財務委員会、国際ポリオプラス委員会にも貢献。

ロータリーの世界的な活動に感銘を受けており、「超私の奉仕によって、ロータリーは、私が知る限り、他に類を見ない独自の世界的アイデンティティを築き上げた。私たちは皆、世界を広げてくれる団体に所属していることを忘れてはならない」と話す。

2020年のコロナ禍の初期に、二つの目標に着手 (一つはロースクール卒業38年後の司法試験合格のための勉強、もう一つはイタリア語の勉強)。歴史や伝記の本を読むことと、おいしいワインを味わうことも趣味とする。ロータリー財団特別功労賞受賞者。

ロータリー財団特別功労賞を受賞。デニース夫人と共に、メジャードナー、ロータリー財団ベネファクター。



国際協議会 2025-26 年度メッセージ講演 私たちのメッセージ



効果的で説得力のある方法でロータリーのストーリーを伝えるためにできる最も重要なことの一つは、私たち全員が一貫性のある統一されたメッセージを確実に使用できるようにすることです。ロータリーの行動計画に沿い、一緒に活動することを呼びかける 2025-26 年度会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」を活用し、会員、参加者、一般の人びとにインスピレーションを与えましょう。クラブと地区のコミュニケーションに会長メッセージを組み込むことで、ロータリーの世界的なインパクトを伝えるだけでなく、地域社会や奉仕パートナー候補者の間でのロータリーの知名度が向上します。また、ロータリーがどのような団体で、どのような活動をしているのかについて人びとの理解が深まるほか、入会への関心も高まるでしょう。





国際協議会に参加して

2025年2月8日～14日、アメリカフロリダ州オーランドのローゼン・シングル・クリークホテルにて開催されました。世界各地からガバナーエレクトがガバナーになる為の研修です。

この場に行って初めてガバナーのあるべき姿、行動を勉強させて頂きました。

他国のGEと同じ部屋で行動計画を考えリーダーシップの高め方やグローバルな行動、そしてロータリーシニアリーダーとセッションを交えました。

ガバナーという大役に就くことが出来なかったら、今回の国際協議会にも参加する事が出来なかったと思います。

地区の皆様、パストガバナーの皆様、そしてクラブの仲間感謝しています。

国際協議会の事について、少し述べさせていただきます。

パストガバナーに国際協議会の事を聞いて、少し早い目に出国して時差ボケを無くし研修を受けようと二日前に同期ガバナーと出国しました。

出発前にはアメリカで2件の航空機事故があり、かなり緊張しながら出発しました。

初日はホテルについて直ぐ日本人スタッフと水野理事はじめ、ラーニングファシリテーターの紹介と研修の説明を聞きました。

夜は歓迎レセプションでRI会長がブラジル人なので、おもてなしのカーニバルサンバチームが踊り、場をおおいに盛り上げました。





いよいよ国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長から、今回はテーマでなくメッセージを発表されました。

「よいことのために手を取りあおう」(英語: UNITE FOR GOOD)

世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性を強調し、その上で成長のための「不可欠な3つの柱」として

- 1, 革新しながらも一貫した伝統を築く
- 2, リーダーシップの継続性の重要性
- 3, パートナーシップの力

以上を挙げられました。

この後4日間の研修を終え、帰路につきました。

国際協議会に行かせて頂き、自分自身がまだまだガバナーの役に達していない事がわかり、マリオ会長のメッセージを念頭に置いて改めてガバナーとしての心づもりリーダーシップの力を勉強させて頂きました。



同期ガバナーの方々と仲良くなり、相談して自分の理解していない部分を解決する事が出来ました。まだまだ勉強ですが、ガバナーの名に恥じない様に頑張ってみます。



行動計画について

ロータリー行動計画

私たちは世界で、地域社会で
 そして自分自身の中で
 持続可能な良い**変化を生むために**
 人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

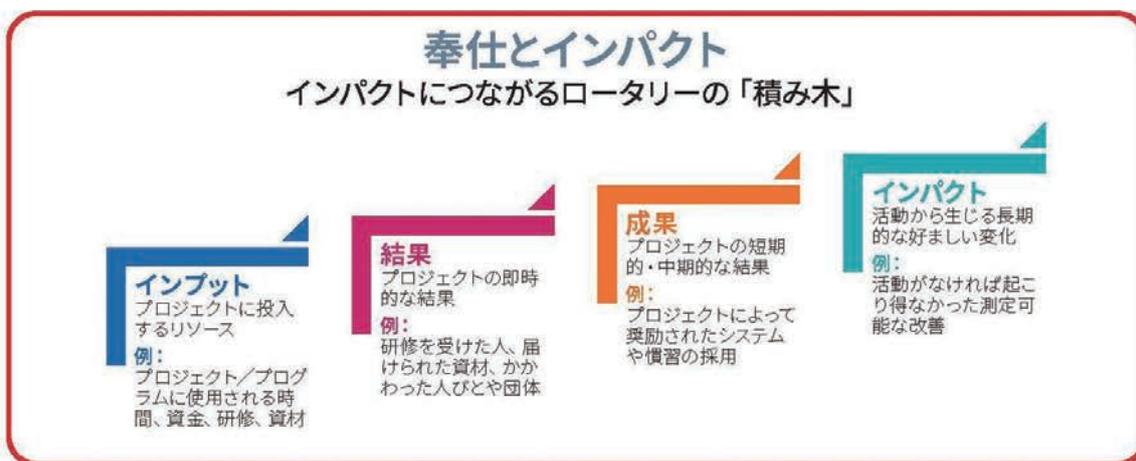
ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

より大きな インパクト をもたらす	参加者の 基盤を 広げる	参加者の積極的な かかわりを 促す	適応力を 高める
<ul style="list-style-type: none"> • ポリオを根絶し、残された遺産を活用する • ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる • 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> • 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する • ロータリー参加の新しい道筋を創り出す • ロータリーの開放性とアピール力を高める • インパクトとブランドに対する認知を築く 	<ul style="list-style-type: none"> • クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する • 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する • 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する • リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> • 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く • ガバナンス、構造、プロセスを合理化する • 意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

4410-JA-(722)



奉仕とインパクト



インパクトを強調する

ロータリーのインパクトとは、ロータリーの行動によってもたらされるポジティブで長期的な変化のことです。私たちは、世界中の人びとにロータリーのインパクトを知ってもらいたいと考えています。ガバナーとしての立場を生かして、ロータリーのインパクトを人びとに伝えることにより、新しい参加者と寄付者の関心を引き付けることができます。

以下に記載された奉仕プロジェクトは、地域社会の経済発展に焦点を当てています。プロジェクトの投入リソース、結果、成果、インパクトを特定してから、このプロジェクトについて伝え、インパクトを強調する方法をまとめてください。

奉仕やストーリーテリングについては、「Promoting Projects: Tell Your Story webinar (プロジェクトの推進: ストーリーを伝える)」ウェビナー(「効果的なプロジェクトでより大きなインパクトをもたらす: ウェビナーシリーズ」の一部)をご覧ください。

ボゴタ・サンタバーバラ・ロータリークラブ(コロンビア)とポートランド・ロータリークラブ(米国オレゴン州)の会員は、コロンビアの団体Compazと協力し、社会経済開発の研修プログラムを実施しています。このプログラムは、コロンビア内戦の影響を受けた地域での事業開発を通じて、地域社会の結束と平和を強化することを目指しています。歴史的に武力紛争の影響を受けてきた地域社会は、基本的なサービスや市場、交通網へのアクセスという点で深刻な制限を受けています。

このプロジェクトの目標は、以下のとおりです。

1. 紛争の影響を受けたウイラ、トリマ、カケタ、プトゥマヨの各地域とボゴタ市のスマパス地域で、社会的かつ環境的な配慮がある事業10件の発展を支援する。
2. 環境への好ましいインパクト、持続可能な経済活動、人権、パートナーシップの構築に関するビジネス研修を通じて、これらの事業を平和のための社会的企業に変える。この研修は、コロンビアの和平協定の実施と事業の取り組みの足並みをそろえるための一助となります。
3. 事業側が社会集団とともに市民アジェンダを開発することに関心を持ち、紛争の影響を受けた人びと、元戦闘員、女性の問題に焦点を当て、少数派社会の参加を確保することによって、地域社会に集団的なインパクトを与える。



DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）に対するロータリーのコミットメント（責任をもって自分が関わっていく）

DEIに対するロータリーのコミットメント



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。



2024~2025年度 国際ロータリー第2640地区 3分区

Rotary **インターシティ ミーティング**
INTERCITY MEETING

- 日 時 2025年 **3月1日(土)** 13:00~ **アバローム紀の国3F** ホスト 和歌山城南RC
- I.M.テーマ **「和歌山県の人口問題と経済の活性化について」**
~この課題に我々ロータリアン・ロータリークラブは如何に貢献するか~

3分区(和歌山市内 9RC)

和歌山 RC・和歌山東 RC・和歌山南 RC・和歌山東南 RC・和歌山西 RC・
和歌山北 RC・和歌山中 RC・和歌山アゼリア RC・和歌山城南 RC

2025年3月1日(土)、13時よりアバローム紀の国3階にて3分区のインターシティミーティングが開催されました。開会式ではホストの和歌山城南RC堂西会長の開会挨拶、野村ガバナー挨拶の後、第1部の基調講演に入り、関西大学名誉教授の宮本勝浩氏の「和歌山県の人口減少と経済効果による活性化策」のテーマの1時間の講演では、発想を変え、やり方次第では和歌山県の経済はまだまだ飛躍発展の余地があるとのことご意見を頂きました。次いで和歌山県企画部長の前昌治氏より「和歌山県の人口減対策及び和歌山県経済の浮揚策について」のテーマの下、豊富なデータに基づく貴重な講演を頂きました。続いて第2部のパネルディスカッションでは、テレビ和歌山の山田みゆきアナウンサーの司会により、4名のパネラー(宮本勝浩名誉教授、前昌治県企画部長、岡本弥生ガバナーノミニ、岡本浩 I. M. 実行委員長)により、人口減という問題に対し、ロータリアンとして如何に考え且つ対処していくべきかについて、意見交換がされました。内容的には、この問題への対策として事業者側から見て行政に何を希望するかが、先ず述べられました。次に、事業者としてのロータリアンが、自身の取組むべき課題としては、婚姻適齢期の女性の積極的雇用/従業員の婚姻への積極的支援/従業員の産休・育休への前向きな対応/従業員の子育てへの職場としての体制的整備および経済的支援が重要であることが、各パネラーより提言されました。このパネルディスカッションを通じ、ロータリアンとして、上記のような課題に積極的に取組むことにより、人口減の解決へ貢献すべきことの認識を深めました。また、自身の事業活動の中で、これら課題に取組み次世代を育ていくことへの積極的関与をしていくことが、ロータリーの職業奉仕の理念から導かれるものであることにつき、参加者へ認識を深めることが出来たかと思われまます。参加者も非常に熱心に聴いて頂き約3時間余りの有意義なインターシティミーティングとなりました。



野村ガバナー



ホストクラブ
堂西会長



岡本浩 I.M
実行委員長

基調講演



司会の
テレビ和歌山
山田アナウンサー



宮本勝浩名誉教授



前昌治 県企画部長



パネルディスカッション



会場風景



クラブ活動報告

台湾岡山 RC の創立 60 周年記念式典

和歌山南ロータリークラブ
国際交流委員長 広瀬晋作

2025年3月7日(金)～3月9日(日)の3日間、国際ロータリークラブ 3510 地区の台湾岡山ロータリーの創立 60 周年記念式典に和歌山南 RC から総勢 26 名で、熱烈な歓迎のもとお祝いに参加してまいりました。



初日の和歌山南 RC との姉妹提携 48 周年（豊川 RC55 周年、佐賀西 RC46 周年）の友好関係とご縁を心から大切にしている事をお互いに確認し合い、また 2 日目の創立 60 周年記念式典では岡山 RC の王順修会長の「長い年月が経っても関係が疎遠になることなく、今もなお深い友情を築き続けている





ことは本当に素晴らしいことです。遠く離れた日本の多くの友人とのご縁を心から大切に思っています。」
また、和歌山南 RC の野村壮吾ガバナーの「1977年3月20日に和歌山南 RC と姉妹提携を結び、毎年継続して48年になります。両クラブの絆を深めてきたことも素晴らしい成果の一つです。皆様の努力と情熱が地域の発展と絆を強め、多くの人々に希望と支援をもたらしてきました。これからも互いに刺激し合いながら交流を深めていきましょう。」の祝辞に始まり、前嶋次年度会長の挨拶等、現地のメディアにも多数取り上げて頂きました。その後、恒例の台湾式？懇親会に移り、「乾杯（カンパイ）、乾杯（カンパイ）」の挨拶と伴に大いなる交流を深め、さらに恒例のカラオケでは、ステージ上で野村ガバナー含む和歌山 RC のメンバー総出による長渕剛のまさに「乾杯（カンパイ）」（笑）を熱唱！会場からの「アンコール、アンコール」の声援に盛り上がりました。



また、3日間、奉仕の理想を实践する台湾岡山 RC の王社長以下個々のメンバーのホスピタリティ溢れる素晴らしい対応に心から感服いたしました。

来年の和歌山南ロータリークラブの65周年が素晴らしい式典になるよう、メンバー一丸となって成功できるよう祈るばかりです。





クラブ活動報告

フィリピン・セブ島の水と衛生プロジェクトを視察

海南東ロータリークラブ

海南東ロータリークラブ（国際奉仕、ロータリー財団委員会）は、ロータリー「水と衛生月間」に合わせ、3月13日～16日に友好クラブのフィリピン セブ島のマンダウエ・イースト RC とのロータリー財団地区補助金を活用した共同プロジェクトを視察。当クラブから、6名のメンバーが参加、訪問しました。

まず、空港到着後、セブ市内で例会、ミーティングに参加。今回のプロジェクトの概要と視察スケジュールを打ち合わせるとともに、支援金 370,000 円を手渡しました。また、夜はウエルカム歓迎会に招待いただき、プロジェクトの成功と長年の友好、親睦を深めました。



翌日、14日は、ホテルから車で1時間のセブ島中部、ダナオ市山間部の Brgy.Manlaya デイケア センターを訪問。完成した手洗場や水源の井戸からの配管、ポンプ設備を確認しました。この施設では近隣の子どもたち約 60 人の子供たちが通っています。施設では、子供たちの教育や保育などを行っています。この工事や他のプロジェクトにあたっては、フィリピン空軍の皆さんが全面的に支援してくれていました。

次に訪問したところは、さらに山を登ること約1時間、カルメン市の山奥にある Taguini Elementary School です。道路は舗装がなく、4WD の車が必要です。生徒は全部で 67 人。通学は徒歩で約2時間かかるそうです。先生はじめ、父兄の方々が総出で出迎えてくれました。この学校は、去年の台風で建物が全壊。別の場所に移転し、ロータリー、フィリピン空軍、関係者の皆さんの協力で、ようやく再建したところです。ロータリーでは、水やトイレ設備を中心に支援しました。今後は安全な飲料水の確保が課題。次は浄水設備が必要となります。



また、15日は、マンダウエ・イースト RC の奉仕プロジェクトで、対岸から小舟で約5分のイスラベルデ島での医療 / 眼科でメディカル支援を視察しました。医師や医療関係者約 10 名とロータリアンが参加しました。島には 65 世帯、700 人が住んでおり、電気や水道もありません。漁業が生業です。実際に視察し、厳しい環境を確認したことから、今後は、水と衛生、教育を中心にサポートする必要があるとして、次年度、ロータリー財団地区補助金の活用を検討したいと感じました。





クラブ活動報告

地区献血活動参加のご報告

堺ローターアクトクラブ

2月23日(日)に赤十字社・骨髄バンク共催の地区献血活動が開催され、堺RACからは7名が、イオンモール堺北花田に、3名が、いこらも～る泉佐野に参加致しました。

冬季は、保管血液量が減少する時期であり、コロナ感染者・インフルエンザ感染者の増加が懸念される時期に合わせて献血活動と骨髄バンクのドナー登録も行いました。

総勢128名の受付、108名の採血、8名の骨髄バンク登録となり、たくさんの方に献血へのご協力を頂くことが出来ました。アクトメンバー一同、心より感謝を申し上げます。有難うございました。



イオンモール堺北花田



いこらも～る泉佐野



クラブ活動報告

熊野古道の「道普請」を実施して

田辺東ロータリークラブ 社会奉仕・親睦委員会

3月9日(日) 熊野古道の「道普請」を実施しました。8時半にマイクロバスで文里港を出発、現地集合のメンバーと合流したのちは、伏拝口バス停で下車。そこから三軒茶屋跡までは、世界遺産センターの担当者の解説を聞きながらトレッキングで現場へ。会員、ご家族、従業員の方々を含め、総勢16名が、早春の爽やかな陽気とともに、悠久の歴史を体感しました。

いよいよ作業開始。1トンを超える土を前に多少及び腰になりながらも、先人たちへの感謝と奉仕の心を胸に、ケガのないようそれぞれのペースで土を運び、そして土を固めました。全員で協力した結果、およそ1時間で作業は終了。昼食は熊野古道弁当で、お腹も心も満たされた一日となりました。最後は熊野本宮大社への参拝や、和歌山県世界遺産センターの見学等、各々自由散策時間を楽しみ、16時に文里港へと戻ってまいりました。

これからも継続して社会奉仕・親睦活動を行っていきたくと考えております。



(伏拝口から徒歩での出発)



(1トンの土を前に説明を受ける様子)



(梅花オウレン)



(数か所をダンチク風に突き固めた後)



新会員の紹介

	クラブ名	白浜ロータリークラブ		クラブ名	和歌山南ロータリークラブ
	氏名	さとう よしひで 佐藤 善英		氏名	のかみ ひろき 野上 浩幹
	職業分類	保険代理店		職業分類	建築設計
	生年月日	1960年5月19日		生年月日	1976年2月22日
	入会年月日	2025年1月27日		入会年月日	2025年2月28日
	クラブ名	橋本ロータリークラブ		クラブ名	河内長野高野街道ロータリークラブ
	氏名	みぞばた しげき 溝端 繫樹		氏名	よしだ いさお 吉田 功
	職業分類	平板印刷		職業分類	研究者(繊維)
	生年月日	1969年2月18日		生年月日	1957年9月5日
	入会年月日	2025年2月6日		入会年月日	2025年2月6日
	クラブ名	富田林ロータリークラブ		クラブ名	岸和田東ロータリークラブ
	氏名	うつみ しょうき 内海 将樹		氏名	ぶれんと にーるせん Brent Neilsen
	職業分類	外国人材紹介及び 監理・支援事業		職業分類	著述業
	生年月日	1998年11月7日		生年月日	1968年12月25日
	入会年月日	2025年2月6日		入会年月日	2025年2月21日
	クラブ名	和泉南ロータリークラブ		クラブ名	堺泉ヶ丘ロータリークラブ
	氏名	なかお しょうゆう 中尾 暁勇		氏名	もりやま じえにー 森山 ジェニー
	職業分類	不動産開発		職業分類	法律事務所
	生年月日	1977年11月25日		生年月日	1984年2月17日
	入会年月日	2025年2月6日		入会年月日	2025年2月4日

訃報

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

御坊ロータリークラブ

こいけ ようこ
小池 庸子 様

2025年2月9日 逝去

在籍期間 26年11ヶ月

職業分類 歯科医

表彰 PHF + 2

和歌山中ロータリークラブ



やました くにひこ
山下 邦彦 様

2025年2月16日 逝去

在籍期間 20年7ヶ月

職業分類 歯科医

表彰 ポールハリスフェロー 1回
第1回米山功労者 マルチプル



第2640地区 会員数報告(2025年2月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	24.7.1	内女性	25.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性	累計		24.7.1	内女性	25.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性	累計
串本	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	松原	6	0	5	0	0	0	0	0	0	1
那智勝浦	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	松原中	21	4	22	4	0	0	1	0	0	0
新宮	46	5	41	3	0	0	0	0	0	5	美原	7	1	5	0	0	0	0	0	0	2
白浜	8	1	8	1	0	0	1	0	0	1	大阪狭山	4	0	6	1	0	0	2	0	0	0
田辺	86	4	86	4	0	0	1	0	0	1	太子	16	2	15	2	0	0	1	2	0	2
田辺東	34	1	30	1	0	0	0	1	0	4	富田林	31	0	32	0	1	0	1	0	0	0
田辺はまゆう	26	5	22	4	0	0	1	1	0	5	泉佐野	25	0	24	0	0	0	1	0	0	2
有田	23	1	25	1	0	0	2	0	0	0	貝塚	14	1	15	1	0	0	1	0	0	0
有田南	21	1	20	1	0	0	1	1	0	2	貝塚コスモス	12	3	12	3	0	0	0	0	0	0
有田2000	15	0	14	0	0	0	2	0	0	1	関西国際空港	16	1	17	1	0	0	1	0	0	0
御坊	34	2	33	1	0	0	0	1	1	1	岸和田	30	1	28	1	0	0	0	0	0	2
御坊東	12	0	11	0	0	0	0	0	0	1	岸和田東	38	7	37	7	0	0	0	0	0	1
御坊南	13	4	15	4	0	0	2	0	0	0	岸和田南	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
海南	8	0	8	0	0	0	1	0	0	1	KUMATORI向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	40	5	0	0	0	0	0	0	りんくう泉佐野	13	3	12	2	0	0	0	0	0	1
海南西	15	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
和歌山	76	2	76	2	0	0	4	0	0	4	和泉	20	0	19	0	0	0	0	0	0	1
和歌山アゼリア	26	10	27	10	0	0	2	0	0	1	泉大津	44	4	43	4	0	0	0	0	0	1
和歌山東	50	0	56	0	0	0	7	0	0	1	和泉南	62	2	64	2	1	0	2	0	0	0
和歌山城南	37	2	38	3	0	0	3	0	0	2	大阪金剛	11	1	11	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	18	0	15	0	0	0	0	1	0	3	高石	23	1	22	1	0	0	1	0	0	2
和歌山北	17	2	20	3	0	0	3	0	0	0	高師浜	10	2	10	2	0	0	0	0	0	0
和歌山南	71	7	78	7	1	0	10	1	0	3	堺	44	5	41	5	0	0	1	1	0	4
和歌山東南	40	5	38	6	0	0	2	0	0	4	堺東	19	5	21	5	0	0	4	0	0	0
和歌山西	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	21	2	23	4	1	1	2	0	0	0
橋本	44	0	43	0	1	0	2	0	0	3	堺中	14	2	14	1	0	0	1	0	0	1
岩出	23	1	23	1	0	0	1	1	0	1	堺北	30	3	33	4	0	0	6	0	0	1
河内長野高野街道	17	5	18	5	1	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	23	3	23	3	0	0	1	0	0	1
粉河	13	1	13	2	0	0	1	0	0	1	堺フェニックス	6	3	6	3	0	0	0	0	0	0
高野山	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	堺清陵	22	4	23	4	0	0	1	0	0	0
羽曳野	10	0	8	0	0	0	0	0	0	2											
河内長野	22	4	23	4	0	0	2	0	0	1	ワールド大阪 ロータリークラブ	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0
河内長野東	21	2	20	2	0	0	0	0	0	1	計	1,517	135	1,516	136	6	1	77	10	1	72



クラブ数	2024年7月1日 会員数				2025年2月末 会員数				2月入会		2月退会		増減						
	男性	1,382	女性	135	男性	1,380	女性	136	男性	5	女性	1	男性	9	女性	1	男性	-4	女性
64	1,517				1,516				6		10		-4						

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを!

※7/1付け入会: 田辺はまゆうRC 1名、有田2000RC 2名、堺東RC 2名、堺北RC 2名



4月の行事予定表

日付	行 事	場 所
5(土)	第9回ガバナー補佐・幹事合同会議 14:00～16:00	けやき ONE401
6(日)	米山奨学生オリエンテーション／カウンセラー研修会 / 新規米山記念奨学生確約宣誓式 11:00～16:00	和歌山県 JA ビル 2階和ホール
9(水)	第6回 委員会 (新旧合同)	ガバナー事務所
12(土)	新旧合同 クラブ社会奉仕委員長会議 13:30～16:30	和歌山県 JA ビル 2階和ホール
13(日)	RLI 委員会 part II 8:30～16:35	ZOOM
16(水)	2024-2025 年度第2回ガバナーノミニー・ラーニングセミナー 13:30～17:00	JPTタワー ホール&カンファレンス (東京丸の内)
17(木)	クラブ活性化セミナー 2025 1回目 10:00～19:30	JPTタワー ホール&カンファレンス (東京丸の内)
18(金)	①クラブ活性化セミナー 2025 2回目 9:30～12:00 ② 2024-2025 年度 第3回ガバナー会議 (ガバナーエレクト・ガバナーノミニー情報交流会ならびに組織連携委員会 13:15～15:30 ③ 2024-25 年度ガバナーノミニー・デジグネットセミナー 13:15～15:30	①②③ JPTタワー ホール&カンファレンス (東京丸の内)
20(日)	第5回オリエンテーション 日本語スピーチコンテスト地区予選 13:00～15:30	けやき ONE401
26(土)	第12回全国インターアクト研究会・長野会議 1日目 11:50～20:30	ホテルブエナビスタ 3F グランデ
27(日)	①第12回全国インターアクト研究会・長野会議 2日目 8:30～12:30 ②地区研修・協議会	①ホテルブエナビスタ 3F グランデ ②和歌山大学

月信への寄稿のお願い

第2640地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？

原稿締め切りは毎月15日になります。原稿を15日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます。事情により翌月以降の掲載になる場合もあります。

IT・ガバナー月信委員会

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町 3-34
けやき ONE301 号室

TEL: 073-426-2640
FAX: 073-426-2660

E-mail: nomura@rid2640g.com

JR 和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

